



毎月十五日発行 社会 宗像 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 福岡店 福岡市博多区東公園一三二(一三〇)

平成八年福岡県神社庁宗像支部

神宮大麻並びに

宗像大社神符頒布始祭齋行



平成八年神宮大麻頒布始祭齋行 宗像大社神符頒布始祭 祭並宗像大社神符頒布始祭

く奉斎され、皇室の御祖先 神であり、私達の総氏神だ である天照大神の御加護の下

遥拝、敬神生活の纏唱和と 神功功勞の表彰式が行われた。つづいて大 澄支副部長、河野総代会長、

大祓式並びに 除夜祭の御案内 年の瀬を迎え、皆様方には御多忙の御事と拝 察申し上げます。

「こんなもの知らなくて も生きて行ける」パソコン 敬遠の弁明の一つ。

「この頃山鳩も人里に 巣を作る。鷹などの天敵か ら身を守る知恵とか、それ

河 東 薄 かはる 意外な速さで雲の移りゆ くさしたる風もなき午後の 空

大島 目原 節子 大洞持つ千年の桶の木は 根本旁はり垣めぐらさる

「五十年目」の総括

「節目の年」を迎へた際の我が国の国 政担当者が、社会党出身の議員を総理 大臣に据えた内閣だった。ふ事態は、

公益に奉仕するといふ政治家本来の使 命よりも優先的に考慮される行動が多 い、さうした我々の見慣れた現実の 姿を指して言ふまでには見えない。

先日、大阪でのAPEC開催に 際し、総理と外相とは訪客である中韓 両国を首脳から、爾後日本は正しい歴 史認識の形成に努めてもらひたい旨

「正しさ」の相対性を改めて再認識する だけの結果で済んで、どちらか 一方が十分に満了するやうな答が出

「正しさ」の相対性を改めて再認識する だけの結果で済んで、どちらか 一方が十分に満了するやうな答が出

田 久 井上 光 朝市にしろれのちの薄日

大島 屋形トミエ 幾山を曲り越えさし落人の 秘境の里は紅葉盛る

も謙歩も進んでやる。事の有様始終は 浅ましくも面白眺めであったが、し

「正しさ」の相対性を改めて再認識する だけの結果で済んで、どちらか 一方が十分に満了するやうな答が出

「正しさ」の相対性を改めて再認識する だけの結果で済んで、どちらか 一方が十分に満了するやうな答が出

「正しさ」の相対性を改めて再認識する だけの結果で済んで、どちらか 一方が十分に満了するやうな答が出

田 野 森 甲子 行き来せし武士らと思ふ秋

池 田 小田 イエ 台風に乗のちざられし庭の 柿青くいつが秋日に光る

宗像大社歌会詠草

第四一四回 大野 展男 選 毎月末日、切



土 穴 瀧口 敦子 朝霧のかかりてかすむ山

津屋崎 佐々木和 満員の電車の中々ゆられつ

第二十四回

宗像大社献詠短歌大会

福岡県知事賞に市岡晴子氏(下関市)



本年度二十四回目を迎えた宗像大社献詠短歌大会... 福岡県知事賞に市岡晴子氏(下関市)

者の平徳と斯道の発展を祈念した。開事に引き続き大会に移り、神事の辞の後、養父宮司が昭和四十六年の選宮を奉祝する行事として始められた本大会の経緯を説明。関係者並びに各位の永年に亘る尽力に謝意を述べると共に、今後の支援をお願いした。その後、一昨年行われた第六十一回式年奉祝のビデオを上映し、午前の部を終了した。

- 喪失 特別賞 福岡県知事賞 下関市 市岡 晴子... 宗像大社司司賞 女海町 水富 珠

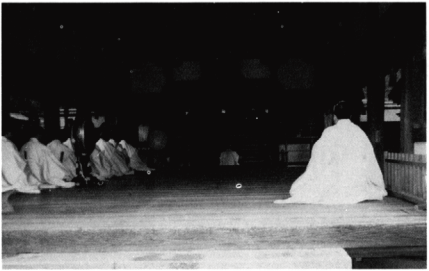
- 津屋崎 水島 文子 今日こそは今日こそとて五十年夫に依り漁に老いてゆく... 宗像大社司賞 女海町 水富 珠

- 四席 毎日新聞社賞 中門市 入江 茂... 宗像大社司賞 女海町 水富 珠

- 一誌一話(40) 中国調査紀行(11) 樂 杏子

新嘗祭 齋行

十一月十三日、勤労感謝の日に当社に於て新嘗祭が斎行された。



神前には、今年収穫された和桶(白米、黄米、玄米、稲穂等の神饌が供えられ、宮司が本年の収穫を感謝する祝詞を奏上、続いて巫女による豊稔舞が、龍笛の調べの中、厳かに奉納された。次に宮司が玉串を捧げ、引続き地元氏代表、出光店主室教育、研修生代表の順に拝礼され祭典が滞り無く終了した。

この新嘗祭は、宮中に於ては、最も重要な祭儀であり、その年の収穫を神に感謝しつつ、その日を樂しみにして来た。地方によって、は形が違っているが、全国津々浦々の神社でも毎年新嘗祭が斎行される。また伊勢の神宮では、神嘗祭という同様の意味のお祭りがあがる。神宮にとっても一年の中で一番大切な祭儀である。一昨年不作により、国内で

宗像本因坊戦

浅見忠雄(六段) 決まる

錦旗を飾る菊花も終盤に入った。二十三日、秋季神賑行事最後の宗像本因坊戦が開催された。

宗像大社・宗像開基連盟(会長 小早川孝)主催、西日本新聞社後援によるこの大会は、宗像アマ開基愛好者待望のチャンピオンを決める大会で今年第二十二回を迎える。

本因坊戦の勝者は、昨年準優勝者善杯を名目し、浅見忠雄六段(福岡)が見事に優勝トロフィーを手に納めた。

- 宗像本因坊 浅見 忠雄六段 福岡 準備勝

- 一席 宗像大社 吉田 和子



本因坊戦の様子

米が輸入され、文化伝統の崩壊につながる言われて久しいが、我々の先祖がどれだけ米を大切にしていたかを忘れてはならない。

外米が輸入され、文化伝統の崩壊につながる言われて久しいが、我々の先祖がどれだけ米を大切にしていたかを忘れてはならない。

争われる本因坊戦は、勅使館で行われた。開会式で小早川会長が、出席者は今日一日勅使館になったと挨拶、立派な、気持ちよい挨拶を打つ

- 二席 宗像大社 山崎 隆一

- 三席 宗像大社 山崎 隆一

一誌一話(40) 中国調査紀行(11) 樂 杏子

口は乾燥の砂漠と黄土の高速道路の九州縦貫道で霧島山インターまでの往復、ソリの道程である。遂にガソリンを底を尽き、迷子の管理局救護管理事務所(いわゆるガソリンスタンド)で給油。

時代は大きく下るが、帰路途中で現代の烽火台もある。これを見ながら帰りを急ぐ。また、井上靖の小説「敦煌」がモデルとなった日中友好の映画にも立ち寄り、この洞窟は破壊されてみる影もない。中には農具倉庫や、塵芥捨て場などに、現在変身させられている窟もあった。

十日の日に蘭州を発つ時荷物と別れて荷物も単独行動か、聞くところによると、まだ荷物は蘭州とも、敦煌に先行しているとも、まったく不明であり、まあいいことこのうなえない。部屋の中がやたらと広く感じる。

### 第二十三回 秋季奉納盆栽展

十一月十一日より十五日まで五日間、第二十三回宗像大社秋季奉納盆栽展が、当大社折願殿に於て開催された。

会場の折願殿ロビー一階には、ビナンカズ、ピラカンサ、ブナ、ヒメリンゴ、カキ、マユミ、ウメドモ等の雑木類、松栢類を中心に丹精を込めた作品、四十五席が展示された。秋だけに実物が目立った。折しも七五三の時期を重ね、千歳船を手に両親に手をひかれた子供達に人気のある小品盆栽から大盆栽まで展示された。また特別

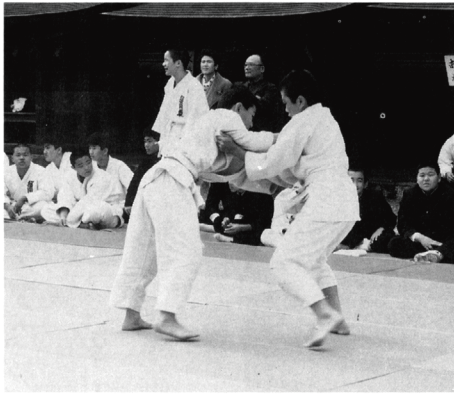


出品として正面入口に松が

置かれた。この盆栽展は宗像地区(宗像市、玄海町、福岡町、津屋崎町、大島村)の愛好家が昭和四十七年宗像大社奉納盆栽会を結成し、宗像大社の御神徳の発揚に努め、広く一般に公開するとともに会員相互の技術交流、一般盆栽者に対する理解と技術指導を目的に昭和四十八年第一回が開催され、今年で二十三回目となる。現在春、秋と二年一回開催され、今年で二十三回目となる。現

### 第二十一回 奉納柔道大会

十一月五日(日)恒例の第二十一回宗像大社奉納柔道大会が本殿御垣内西側の広場で開催された。午前九時三十分、宗像市郡内の中学校より集まった約六十名の選手が神職のお祝を受けた後、開会式が行



われ、審判より試合上の諸注意等があり試合が開始された。先ずは団体戦から行われ、中には女子選手を中心としたチームもあり、男子選手相手に奮戦し、盛んな声援を受けていた。

十一月五日(日)恒例の第二十一回宗像大社奉納柔道大会が本殿御垣内西側の広場で開催された。午前九時三十分、宗像市郡内の中学校より集まった約六十名の選手が神職のお祝を受けた後、開会式が行われ、審判より試合上の諸注意等があり試合が開始された。先ずは団体戦から行われ、中には女子選手を中心としたチームもあり、男子選手相手に奮戦し、盛んな声援を受けていた。

- 一位 真名子由臣 福岡東
- 二位 藤木 大輝 福岡
- 三位 尾川 奈美 津屋崎
- 二位生部
- 一位 森岡見一郎 福岡東
- 二位 魚住 兆寿 津屋崎
- 三位 寺崎 大吾 津屋崎

### 彩の国便り 埼玉宗像会

宗像の神々を祀る神社は、全国で六十余社。埼玉県寄居郡寄居町に鎮座する宗像神社では、二年に一度、宮司、役員の方々を先遣として氏子の方々に、当大社秋季大祭の十月一日に大津来社され、中津宮、みあれ祭、辺津宮と巡拝されるのを迎える。今年もこの宗像神社では埼玉宗像会を結成された。同神社主任の阿久澤孝昭氏から



埼玉宗像会が発足

また一般の参拝者の鑑賞が多い為、展示説明などを通して少しでも盆栽に興味を持ってもらおうと努めている。十二月二日、奉納盆栽展の反省会が開かれ、会結成当時より作品が充実してきていることに話が及び、また年鑑賞に見る参拝者も多額、顔なじみとなり、盆栽に話がはずむこともしばしばである。

### 出光興産(株) 第五十一期店主室教育 宗像研修を終えて

一 班 田村 隆生  
この宗像での研修の間、神道の作法を学びながら、家庭での儀の重要さについて考えました。また神棚の祭り方を学びながら、やはり家庭での教えについて考えさせられました。今の日本人が、日本人らしさを失った最大の理由は、このような昔からの教え、作法、知恵を家庭でまったく教えずになってしまった事に最大の理由があることに、改めて気付かされました。社会人となる前の教育が、やはり一番重要なのだと思えました。

また、毎晩正座にて、鎮魂をさせていただきましたが、これを拝読で行うのと、高宮で行うのと、大きな差がありました。拝読で行った時は、来週から実際に修行のことに關していろいろと考えていたのですが、高宮では、古代人の行った何故神ノ鳥で折人が玄界隈で亡くなったのか、昔の人は何を祈っていたのかというように考えることができました。



二 班 斎藤 雅春  
社格の高さや文化財所蔵量の多さとい、出光店主が生涯崇敬してやまなかった宗像大社の歴史の深さを感じる事ができました。このようなところで研修をさせて頂いて感謝の気持ちでいっぱいです。

三 班 内川 尚和  
これまで、初語に代表されるように生活の中で度々神社に触れていながら、その神社についての歴史、作法等の知識は皆無でありました。ひたすら「神頼み」程度であったのですが、今回の宗像研修における各神職の方々の講義から、多くの知識を得たばかりでなく、実際に作法を体験でき、日本人

がして、自分を振り返り見つめ直すことができました。また、久しぶりに日本人らしい、質素で落ち着いた生活のある生活をしました。近視眼的な欲望に満ちた生活を反省し、本当の豊かさとは何かを考えていきたいと思えます。私自身、これは何の姿模倣もない毎日の中に、自分を発見していくことかと思っています。

### 社務日誌抄

- 十一月一日 月次祭
- 十一月五日 月次祭
- 十一月八日 御宇田神宮宮司森本修二氏他十八名参拝
- 十一月九日 福岡県海上保安部長春林利明氏他四名参拝
- 十一月十日 沖・中宮奉拝会、同敬婦人部十二名参拝
- 十一月十一日 第二十四回宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月十二日 少林寺奉法奉納演武会
- 十一月十三日 東郷老人会大会表彰式
- 十一月十四日 菊池神社本宮司他一名来社
- 十一月十五日 月次祭・七五三祭
- 十一月二十日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十一日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十二日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十三日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十四日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十五日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十六日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十七日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十八日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月二十九日 宗像大社秋祭短歌大会
- 十一月三十日 宗像大社秋祭短歌大会

### 宗像大社歌会 俳句作品集(三九三)

福間 森 清  
時雨るるや尿の犬に傘をさす

福岡中央 力丸 支風  
父と子の影が寄り添う日向  
ぼこ

日の里 花田いつ枝  
秘めことは小指ほどなり馬  
肥ゆる

自由ヶ丘 細川 絹子  
過ぎし日を語り合いつつ柿  
をむく

若松 高橋 忠實  
古里に住む人も無し白萩秋

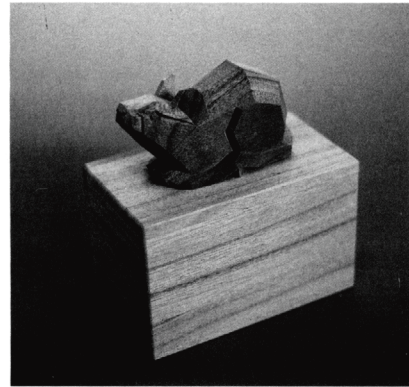
藤沢 井上 玄洋  
ユッカにも爾気深か初明り



〔ご案内〕

## 平成八年正月祭

### 新年諸祈願並びに 縁起守等社頭授与品



天照皇大神の御子神であられる宗像大神は、またの御名を「道主貴」と申し上げ、生活、文化、産業、交通等あらゆる道を司る尊い神様として、全国の人々から篤い崇敬を受けています。

平成八年の新春を迎えるにあたり、当大社では元旦午前零時を期して、交通安全、家内安全、業務繁栄、厄年厄除等の諸祈願祭を執り行うと共に、社頭では鑄矢、破魔矢、福迎え、一刀影等の縁起守を授与致します。更に初詣の皆様は福運を呼び込んでいただくことと「福みくじ」も例年通り準備致しておりますので、紙面を以て紹介させていただきます。是非御参拝下さいませ。よう御案内申し上げます。

◆◆◆◆◆

**新年諸祈願祭**  
交通安全祈願祭  
◆大型自動車(二台)  
折願初穂料 六〇〇〇円  
車輪用御守、反射射・ステッカー守授与

◆普通・軽自動車(二台)  
折願初穂料 五〇〇〇円  
車輪用御守・ステッカー守授与

◆自動車(二台)  
折願初穂料 三〇〇〇円  
一輪車用御守・ステッカー守授与

※二百以上の車輛で御参拝の場合は、台数分の折願初穂料をお納め願います。

事業所・団体祈願祭  
◆業務繁栄・業務安全・交通安全・海上安泰等  
折願初穂料 一〇〇〇〇円以上

折神符(甲) 一体授与 一〇〇〇〇円以上  
折神符(乙) 一体授与 一〇〇〇〇円以上  
折神符(丙) 一体授与 一〇〇〇〇円以上  
折神符(丁) 一体授与 一〇〇〇〇円以上

◆家内安全・商売繁昌・厄年厄除・入試合格・諸願成就等  
折願初穂料 五、〇〇〇円以上

家内安全・商売繁昌祈願 折神符 一体授与  
厄年厄除・諸願成就祈願 折神符・御守各 一体授与

※厄年は数え年です。来年

(二月一日〜十二月三十一日までの間 厄年にあたられる方は)

前厄 男性  
二十四才(昭和四十八年 生)

四十一才(昭和三十一年 生)

六十才(昭和十二年 生)

女性  
十八才(昭和五十四年生 生)

三十三才(昭和四十年 生)

三十六才(昭和三十六年 生)

大厄 男性  
二十五才(昭和四十七年 生)

四十二才(昭和二十六年 生)

六十一才(昭和七年 生)

六十二才(昭和六年 生)

女性  
十九才(昭和五十二年 生)

三十三才(昭和三十九年 生)

三十七才(昭和三十五年 生)

後厄 男性  
二十六才(昭和四十六年 生)

四十三才(昭和二十九年 生)

二月一日〜十二月三十一日までの間 厄年にあたられる方は)

前厄 男性  
二十四才(昭和四十八年 生)

四十一才(昭和三十一年 生)

六十才(昭和十二年 生)

女性  
十八才(昭和五十四年生 生)

三十三才(昭和四十年 生)

三十六才(昭和三十六年 生)

大厄 男性  
二十五才(昭和四十七年 生)

四十二才(昭和二十六年 生)

六十一才(昭和七年 生)

六十二才(昭和六年 生)

女性  
十九才(昭和五十二年 生)

三十三才(昭和三十九年 生)

三十七才(昭和三十五年 生)

後厄 男性  
二十六才(昭和四十六年 生)

四十三才(昭和二十九年 生)



御家庭の災難消除、御家族の無病息災を願って鑄矢・破魔矢を、また商売繁昌・家運隆昌を願って福迎え・開運招福を願って一文字一文字の縁起守を授与致します。

◆特別鑄矢 三、〇〇〇円  
◆鑄矢 一、五〇〇円  
◆初穂料 一、五〇〇円  
◆破魔矢 一、〇〇〇円  
◆初穂料 一、〇〇〇円  
◆組矢 一、〇〇〇円  
◆初穂料 一、〇〇〇円  
◆福迎え(特大) 初穂料 一〇、〇〇〇円  
◆福迎え(大) 初穂料 二、〇〇〇円  
◆福迎え(中) 初穂料 一、五〇〇円  
◆福迎え(小) 初穂料 一、〇〇〇円  
◆二能手 初穂料 七〇〇円  
◆一文字一刀彫 初穂料 二、〇〇〇円  
◆一文字一鈴セット 初穂料 一、〇〇〇円  
◆一文字一馬 初穂料 七〇〇円  
◆宗像狛犬(限定) 初穂料 三〇、〇〇〇円

**新春福みくじ**  
特賞から八等までの各賞に招福置物、ぬいぐるみ等の各種賞品を沢山準備し、受けられた方にはもちろん賞品を授与致します。御参拝の折、来年の福運を占ってみて下さい。

初穂料(一体) 五〇〇円

## 宗像大社初もうで交通規制のお知らせ

宗像大社の初もうでの期間中、交通の安全と円滑を図るため交通規制を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

**規制日時**

- 平成7年12月31日 午後9時から 平成8年1月1日 午後9時まで
- 平成8年1月2日~1月5日までの午前9時から午後9時まで

